

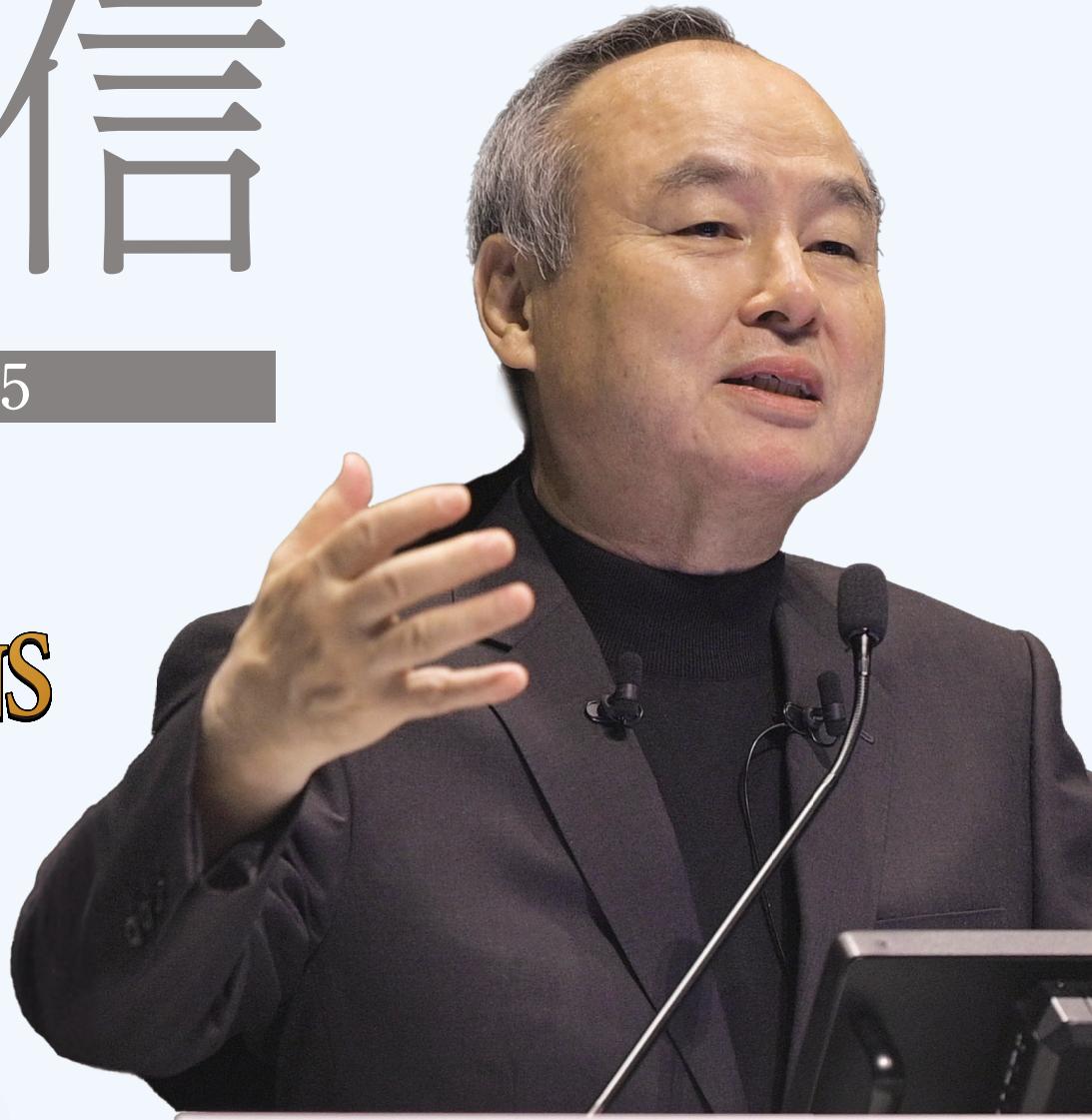
株主 通信

SoftBank
Group

ソフトバンクグループ株式会社

証券コード：9984

2025



ASIのNo.1

プラットフォーマーへ

INDEX

P.2 … 株主の皆さまへ／2025年度上期の業績概況

P.3 … ASI実現に向けて

P.5 … ASI実現とサステナビリティ

P.6 … ホークス、5年ぶりの日本一！

株主の皆さんへ

当社は「情報革命で人々を幸せに」という創業以来変わらない経営理念の下、情報技術の発展によって社会やライフスタイルが変革する「情報革命」を牽引し、世界の人々が最も必要とするテクノロジーやサービスを提供する企業グループとなることを目指しています。

私は今年の株主総会で、「10年後、ASI^{*1}の世界No.1プラットフォーマーになる」と宣言しました。2025年は、3月にOpenAIへの最大400億米ドルの出資コミットメントを表明し、10月にはスイスABBのロボティクス事業の買収に合意するなど、その決意を実行に移し、大きく前進した一年になりました^{*2}。

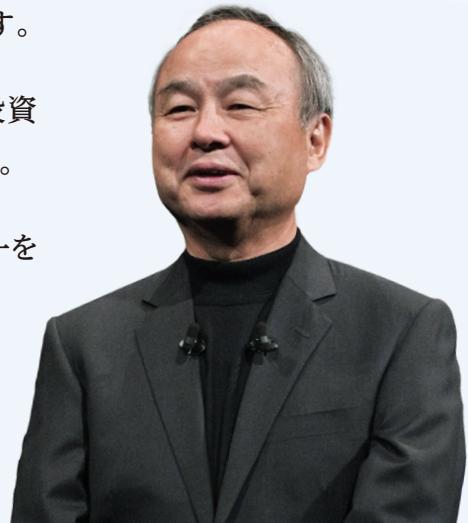
当社は、最先端AIモデル(OpenAI)、半導体基盤(アーム/Graphcore/Ampere Computing)、ロボティクス(ABBなど)、AIデータセンター(米国「Stargate」)および電力事業など、グループ総力を挙げてASI実現に向け取り組んでいきます。

上期の業績は、OpenAIへの出資に係る投資利益の計上等により、投資利益・税引前利益・純利益^{*3}のいずれも上期として過去最高となりました。

最後になりますが、今年、福岡ソフトバンクホークスは5年ぶりに日本一を奪還しました。日頃からのご声援に、心より御礼申し上げます。

ソフトバンクグループ株式会社
代表取締役 会長兼社長執行役員

孫 正義



2025年度上期の業績概況 上期最高益更新

2025年度上期の決算は、純利益が前年同期比2.9倍の2兆9,241億円と過去最高を大幅に更新しました。これは主にOpenAIへの出資に係る投資利益2兆1,567億円を計上したことによるものです。このうち、出資持分(転換持分権および従業員持分)の公正価値の増加額9,805億円は投資の未実現評価利益として、OpenAIに対して2025年12月に225億米ドルを追加出資する権利(フォワード契約に該当)の公正価値の増加額1兆1,762億円は投資に係るデリバティブ関連利益としてそれぞれ計上しました。このほか、SVF^{*4}事業において、公開投資先の株価が上昇したことも増益に寄与しました。

なお、2025年11月11日、投資家の皆様がより当社株式へ投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的に、同年12月末を基準日として、1株につき4株の割合をもって分割することを発表しました。

■ 連結業績

(億円)	2024年度上期	2025年度上期	増減額
売上高	34,699	37,368	+2,669
投資損益	26,510	39,267	+12,756
税引前利益	14,611	36,864	+22,252
純利益	10,053	29,241	+19,187
中間配当	22円/株	22円/株	—

当社説明会資料のページは [こちら](#)

*1 Artificial Super Intelligence(人工超知能) *2 詳細は「ASI実現に向けた取り組み」をご覧ください
*3 親会社の所有者に帰属する純利益 *4 ソフトバンク・ビジョン・ファンド

ASI実現に向けた取り組み

当社はASIの実現に不可欠なチップ、ロボット、データセンター、電力の4分野において積極的な投資と事業展開を進めるとともに、生成AI分野をリードする企業への投資も行っています。そうした取り組みを進める中で、このたびロボット分野で大きな一步を踏み出しました。

2025年10月、当社はスイスのABBのロボティクス事業を総額53.75億米ドル(約8,187億円^{※1})で買収することに合意しました。ABBのロボティクス事業は44カ国以上で展開され、業界2位の売上高規模および累計ロボット出荷台数を誇ります。産業用ロボットの開発から製造、販売、サービスまでを一貫して担っており、約7,000名の従業員を有し、ロボット出荷実績は50万台を超えていました。この買収は、2026年半ばから後半に完了する見込みです。

当社はABBのロボティクス事業とともに、世界トップレベルの技術と人材を結集し、ASIとロボティクスを融合させることで、ソフトバンクグループの次のフロンティアであるフィジカルAI^{※2}において、人類の未来を切り開く画期的な進化を実現していきます。



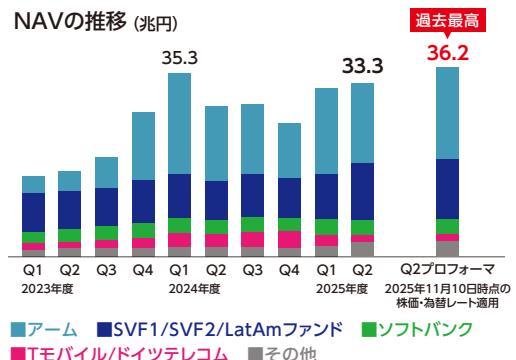
ASI実現に向けて重要なピースが追加

アーム事業

2025年度上期の売上高は、上期としてアーム史上最高の2,188百万米ドル^{※3}(3,203億円)となりました。顧客による活発なAI投資を背景にライセンス収入が好調となったほか、モバイルおよびクラウド分野でチップ当たりのロイヤルティー単価が高い最新世代テクノロジー「Armv9」の普及が進みました。また、同社は2025年9月、スマートフォンやPCなどのモバイル端末向けに、新たなCSS^{※4}「Arm Lumex CSS」を発表しました。これにより顧客企業は、AIデバイスの市場投入を一段と迅速化し、フラッグシップスマートフォンや次世代PCでのAI体験を加速させることが可能となりました。

NAV

OpenAIをはじめとするSVF投資先の公正価値上昇が牽引し、2025年9月末のNAV^{※5}は33.3兆円になりました。なお、同年11月10日時点のプロフォーマ^{※5}は36.2兆円となり、過去最高を更新しています。



※1 1米ドル=152.31円で換算 ※2 AIがロボットなどを通じて現実の物理空間で動作する技術のこと ※3 当社の要約中間連結損益計算書におけるセグメント情報のアーム事業に関する開示数値 ※4 CSS:コンピュート・サブシステム。複数のアームテクノロジーを組み合わせたパッケージ製品。顧客企業の開発期間を短縮し、チップ性能の最大化が可能

※5 詳細は、当社の**2025年度第2四半期決算プレゼンテーション資料 Appendix**をご覧ください

※ASI実現に向けた取り組みとNAVの詳細は、当社の**2025年度第2四半期決算プレゼンテーション資料**を併せてご覧ください

※アームの事業およびテクノロジーに関する詳細は、[同社ウェブサイト](#)をご覧ください

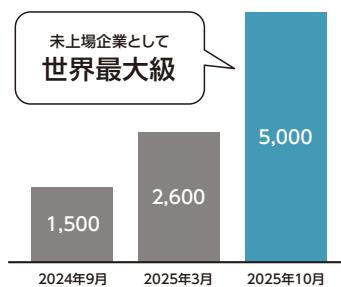
OpenAI

当社は2025年3月、OpenAI Globalに最大400億米ドルの追加出資を行うことについてOpenAIと最終的な契約を締結しました。この契約に係る当社の実質的な出資予定額300億米ドルのうち、75億米ドルは2025年4月に完了、225億米ドルは2025年12月に実行予定です。なお、当該出資における同社の評価額は2,600億米ドル^{*1}です。同社は着実な成長を続けており、2025年10月時点の同社の評価額は未上場企業として世界最大級の5,000億米ドルに到達しました。また、事業成長を示す主要指標の一つである週間アクティブユーザー数は、同月に8億人を超えたほか、年間経常収益^{*2}も2024年12月時点の55億米ドルから、2025年7月には130億米ドルへと大幅に増加しています。

さらに、2025年10月末、OpenAI Globalの組織再編が完了しました。これにより、当社は同年12月の追加出資後に、OpenAI Group PBC^{*3}となった営利部門の約11%を保有する株主となります。この再編を経て、同社は今後の成長に向け、資金や優秀な人材など主要なリソースへアクセス可能な体制となりました。

ASI実現の鍵となるAIモデルの進化には、膨大な計算能力が不可欠です。そのため、当社は2025年1月にOpenAIと連名で、同社へ提供するAIインフラを米国内で構築するStargate Projectを発表しました。今回の追加出資はStargateを含め、同社のさらなる成長を支援し、その成果を当社のNAVに取り込むことを目的としています。当社は今後もOpenAIの成長を支援しつつ、ASI実現に向けた取り組みを続けていきます。

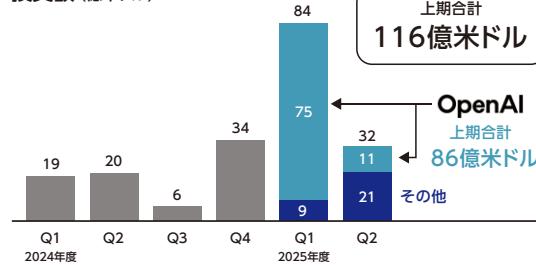
OpenAIの評価額（億米ドル）



投資額と財務規律

2025年度上期の投資額^{*4}は、主にOpenAIへの86億米ドルの投資により、合計116億米ドルとなりました。また、2025年度第3四半期には、同社への225億米ドルの追加出資や、米国Ampereへの65億米ドルの投資などの大型投資が控えています。このような中、2025年度上期には、社債やローンによる調達のほか、Tモバイル株の売却など保有資産の資金化も進めました。これらの結果、2025年9月末時点のLTV^{*5}は16.5%と低水準を維持し、手元流動性も4.2兆円と潤沢な水準を確保しました。また、10月以降もNVIDIA株の売却に加え、アーム株を活用したマージンローンの借入枠を拡大するなど、保有資産の資金化を実施しています。当社は今後も、LTVに配慮しながら、さまざまな資金調達手段を柔軟に活用し、NAVの成長に向けた投資を進めていきます。

投資額（億米ドル）



*1 プレマネーベース(投資実行前の評価額) *2 前月売上高の12カ月換算。同社のコンシューマ向け製品、ChatGPTの法人向け製品、APIを通じた収益を含みます *3 PBC: パブリック・ペネフィット・コーポレーション(公共利益を重視し、社会貢献を目的に置いた法人格で、米国の企業形態のひとつ) *4 SBGおよびソフトバンク・ビジョン・ファンドからの投資額の合計 *5 Loan to Value * OpenAIへの追加投資の詳細は、[2025年4月1日付の当社プレスリリース](#)および[2025年度第2四半期決算プレゼンテーション資料](#)を併せてご覧ください * LTVの詳細は、当社の[2025年度第2四半期決算プレゼンテーション資料](#)を併せてご覧ください

ASI実現とサステナビリティ

私たちは、ASIの実現がもたらす技術革新が、気候変動や教育格差、経済格差といった地球規模の課題解決につながり、持続可能な社会の実現に貢献すると考えています。この考え方の下、AIモデル、チップ、ロボット、データセンター、電力など、ASIの実現を支える中核領域への投資と事業活動を通じて、サステナブルな社会の実現を進めています。

AIモデルが広げる知の発展

高度なAIモデルを誰もが活用できることは、社会課題の解決を加速させます。ChatGPTのようなAIツールは、教育や環境などの分野で知識へのアクセスを広げ、持続可能な社会の実現に貢献します。OpenAIの先進モデルは、知の共有と革新を支える基盤となり、未来の可能性を拓きます。

高電力効率のASI時代のチップ

AIの進化により膨大なデータ処理が求められる中、高い処理性能と電力効率の両立がこれまで以上に重要となっています。ArmやGraphcoreは優れた電力効率を強みに、拡大するコンピューティング需要と持続可能なAIインフラの構築を支える技術基盤を担っています。

持続可能なデータセンターへ

ASIの発展を支える演算基盤としてデータセンターの重要性が高まる一方、その環境負荷の低減が課題となっています。Stargate Projectでは、高電力効率のチップを採用した計算基盤の構築、電力のベストミックスや水の最適利用など、環境に配慮した開発・運用を目指します。



ロボットが拓く協働社会

AIの力でロボットは劇的に進化し、労働力不足の解消、生産性向上、危険環境での作業代替など、社会を支える重要インフラとして進化しています。AutoStoreやSkild AIなどのロボティクス企業と共に、人とロボットが協働するより安全で生産的な社会の実現に貢献しています。

ASIを支える環境に配慮した高効率発電

ASIの実現には膨大な電力が不可欠であり、環境負荷を抑えながら安定的に電力を供給することが重要です。当社グループは、SB Energy Globalや核融合発電の実用化を目指すHelion Energyなどへの投資を通じて、環境に配慮したより高効率な発電を進めています。

[当社のサステナビリティの詳細はこちら](#)



© SoftBank HAWKS

ホークス、5年ぶりの日本一!

ホークスは通算23回目

(前身球団時代を含む、ソフトバンクホークスとして8回目)となる、
パシフィック・リーグ優勝および5年ぶりの日本一を達成しました。
熱いご声援をいただきありがとうございました。

—— ソフトバンクホークスからのメッセージ ——

今シーズンも一年を通して、温かいご声援をいただき誠にありがとうございました。皆さまの熱い応援に支えられ、福岡ソフトバンクホークスは2年連続のリーグ優勝、そして5年ぶりの日本一という最高の結果を掴むことができました。

今季は主力選手の故障など厳しい状況もありましたが、その中で若手選手が大きく成長し、チーム全員が一丸となって戦い抜くことができました。どんな時も温かく見守り、励まし続けてくださった皆さまのお力添えがあってこそこの栄冠です。心より感謝申し上げます。

これからも皆さまのご期待に応えられるよう、球団一同さらなる飛躍を目指してまいります。

- 本誌に掲載されている会社名、社名および商品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。

- 本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

免責事項 本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなりスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません

ソフトバンクグループ株式会社 〒105-7537 東京都港区海岸1-7-1 電話：03-6889-2000 <https://group.softbank/>

[会社概要はこちらへ](#)

[株式基本情報はこちらへ](#)

2025年12月2日発行 Copyright © 2025 SoftBank Group Corp. All Rights Reserved.